



屋根鉄骨梁伏図 1/100

- 水平ブレースT 1 を示す  
ブレース用G Rの取付け位置を偏芯させないこと  
ブレース用G Rの溶接長について  
・両面すみ肉溶接とし、ブレース軸線から両側に30度、  
合計60度の範囲内の溶接長を100mm以上とすること。
- ・特記無き限り、ボックスチフナは、R-6 とすること。  
・屋根勾配に沿った振止め小梁へは折版を取付けないこと  
・仕口部が剛接合となる箇所は工場溶接とする。